



ギガビットイーサネット・メディアコンバーター

CentreCOM® MC2501/MC2502 ユーザーマニュアル

1 特長

- SFP モジュールスロットを搭載
 - 超小型サイズ、軽量ファンレス設計
 - 最大 10 台までの多段接続が可能※¹
 - 一方のポートリンクが切断された場合、もう一方のポートリンクも自動的に切断するミッシングリンク機能
 - リモートポート対向機器間で状態通知を行うインバンド管理機能※²
 - リモートポート対向機器との接続状況を LED で簡単に確認できるループバックテスト機能※²
- ※ 1 中継機としてご使用いただけるのは、光ポートの SFP モジュールを装着した MC2502 のみです。
 ※ 2 接続先が MC2500 シリーズの場合のみ有効です。

- [オプション] (別売)
- マグネット Kit XS (4 個のうち 2 個のみ使用)

製品の最新情報について

本製品リリース後の最新情報を弊社のホームページにてお知らせします。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

18 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただけますようお願いいたします。

19 輸出管理と国外使用について

お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しましたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。
 弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

20 マニュアルバージョン

2008 年 6 月 Rev.A 初版
 2008 年 6 月 Rev.B 仕様変更
 2010 年 4 月 Rev.C 誤記訂正

- **アライドテレシス株式会社 サポートセンター**
<http://www.allied-telesis.co.jp/support/info/>
 **0120-860772**
 携帯電話 / PHS からは：045-476-6203
 月～金 (祝・祭日を除く) 9:00～12:00
 13:00～17:00

14 サポートに必要な情報

お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止め、迅速な障害の解消を行うために、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点についてお知らせください。なお、都合により弊社からの連絡が遅れることもございますが、あらかじめご了承ください。

● 一般事項

すでに「サポート ID 番号」を取得している場合、サポート ID 番号をお知らせください。サポート ID 番号をお知らせいただいた場合には、ご連絡先などの詳細は省略していただくかまいません。

- サポートの依頼日
- お客様の会社名、ご担当者名
- ご連絡先
- ご購入先

● 製品について

- 製品名、製品のシリアル番号 (S/N)、製品リビジョンコード (Rev) などのハードウェア情報をお知らせください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品に貼付されているシリアル番号シールに記載されています。



● LED の点灯状態について

● お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に (再現できるように) お知らせください。
- 可能であれば、早期解決のために、エラーメッセージや設定ファイルをお送りください。(パスワードや固有番号など差し障りのある情報は、抹消してお送りいたしますようお願いいたします。)

● ネットワーク構成図について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をあわせてお送りください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

15 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社 (弊社) の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。
 弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

©2005-2010 アライドテレシスホールディングス株式会社

16 商標

CentreCOM は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

17 電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう求まることがあります。

VCCI-A




安全のために

必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

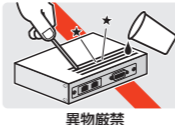
分解や改造をしない 本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



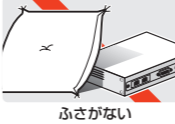
雷のときはケーブル類・機器類にさわらない 感電の原因となります。



異物はいれない 水は禁物 火災や感電のおそれがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。




通風口はふさがない 内部に熱がこもり、火災の原因となります。




湿気やほごりの多いところ 油煙や湯気のある場所には置かない 火災や感電の原因となります。




表示以外の電圧では使用しない 火災や感電の原因となります。本製品に付属の AC アダプターは AC100-120V で動作します。



付属の電源アダプター以外使用しない 火災や感電の原因となります。必ず、付属の AC アダプターを使用してください。




コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。




設置・移動のときは電源プラグを抜く 感電の原因となります。




ケーブル類を傷つけない 特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。ケーブル類やプラグの取扱上の注意
 ・加工しない、傷つけない。
 ・重いものを載せない。
 ・熱器具に近づけない、加熱しない。
 ・ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



光源をのぞきこまない 目に傷害を被る場合があります。光ファイバーケーブルのコネクター、ケーブルの断面、製品本体のコネクターなどをのぞきこまないでください。



適切な部品で正しく設置する 取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて正しく設置してください。指定以外の設置部品の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因となります。



ご使用にあたってのお願い


次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光のあたる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所 (結露するような場所)
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所 (仕様にて定められた環境条件下でご使用ください)
- ・振動の激しい場所


・ほごりの多い場所や、ジュースを飲いた場所 (静電気障害の原因になります)
 ・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意 本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊されるおそれがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



取り扱いにはついでに 落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしないでください。




お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で 誤動作の原因になります。




機器は、乾いた柔らかい布で拭く 汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤 (中性) をしみこませ、固く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



お手入れには次のものは使わないでください

- 石油・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん・みがき粉 (化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書きに従ってください)



シンナー類不可

